

下関市都市計画マスタープラン（案）に対するパブリックコメント実施結果

1. 実施期間

令和4年1月19日（水）から令和4年2月18日（金）まで

2. 意見応募状況

意見応募者 11人

意見件数 47件

※意見提出の定めに違反して提出された意見および、内容が実施対象の内容に合致しない意見は結果から除外しております。

3. 意見の要旨と市の考え方等

番号	項目	意見の要旨	市の考え方又は対応
1	82	「JR西日本の駅舎にバリアフリー化にあわせて」について、バリアフリー化の計画がある場合は、行政と十分に協議して進めて頂きたい。	<p>幡生駅については、JR西日本が実施する駅舎のバリアフリー化事業の計画にあわせて武久側からのアクセス性が向上できるよう、JR西日本と協議を図りながら検討を進めてまいります。</p> <p>駅についてのご意見につきましては、今後、JR西日本と協議を進めるうえで参考にさせていただきます。他のご意見につきましても、今後の計画を推進するうえでの参考ご意見とさせていただきます。</p>
2	82	「武久側からのアクセス性の向上に努め」について、武久側だけでなく、北側（幡生宮の下町及び山の田東町）とのアクセス性を向上させる駅の改修が必要です。特に徒歩利用に便利な形が望ましいです。	
3	82	「地域拠点に相応しい駅周辺整備」について、幡生駅周辺を商業拠点にするのは大変な作業になりますので、少なくともコンビニや食事ができる店が駅前があれば利用者にとって便利な駅になると思います。	
4	82	「交通結節機能の充実」について、列車到着時間に合わせ、駅前と山の田を結ぶミニバスあれば便利かと思えます。	
5	82	「サイクルアンドライドやキスアンドライド」について、ネットで検索しないとわからないような用語は使用しない方が無難です。	「参考資料：用語解説」に掲載しております。
6	2	「1, 都市計画マスタープランとは」【位置づけ】の項「概ね20年先を見通して…まちづくりの理念や、目標を示す」について。 見通すための現状の評価が、市民の実感と違う部分があるみたいで懸念します。何回か読み直してみると、まちづくりを「市民の生活」の側からではなく、「立地環境」というか「入れ物」の側からみているようです。	都市計画マスタープランは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」です。都市計画は都市内の限られた資源を有効に配分し、建築敷地、基盤施設用地、緑地・自然環境を適正に配置することにより、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保しようとするものです。

番号	項目	意見の要旨	市の考え方又は対応
7	37	<p>「2、…プラン見直しの視点」【重要なキーワード】の項最初にく都市の活力を高め>となっています。<町内の活力を高める>という視点がほぼ無いのが、気がかりです。「住みよい・暮らしやすいまち」の大きな要素は、町内の活力ではないでしょうか。そこに目配りのない、「都市計画」になってはいませんか。</p> <p>具体的に問えば、住民の生活に直接の影響を及ぼしている、以下の点はどのように対応されますか。</p> <p>自治会は年年、弱体化しています。せざるを得ないのです。民生委員や福祉委員のなり手も、年々、少なくなっています。老人が増え続けているのに、老人クラブはクラブ数も人員も減り続けています。</p> <p>「市民の命を守り、安全・安心に生活する」と掲げても、日常の市民の生活に目配りが出来る状況が弱まっていき、【孤独死】を防げない町内となっている現状にどのように対応するのでしょうか。</p>	<p>都市計画は、無秩序な土地の開発を抑制し、計画的な都市開発を促進するものであり、この都市計画を推進することで良好な住環境の形成や都市基盤が整うことによって、結果として経済の発展、産業振興、観光振興などに繋がります。</p> <p>また、近年の少子高齢化、人口減少下においては、コンパクトなまちづくりを促進することで、日常生活サービスの向上や地域コミュニティの維持にも繋がるものと考えております。</p> <p>したがって、このたびの都市計画マスタープランの改訂にあたりましては、移住や居住促進、子育て施策、産業立地などについて、「下関市総合計画」や「まちひとしごと創生総合戦略」など、その他関連計画と連携を図りながら取り組んでいるところでございます。</p>
8	38	<p>「3、年の将来像」の項、【見直しの視点】について【見直しの視点】は<人口の減少>を指摘しています。ただ、プランの表現では、住民の生活の実感（暮らしやすいために必要なこと）が伝わってきません。</p> <p>住民が日々感じる<人口減少>は、具体的に住民の日常生活に則して述べると、年月を追うごとに、全体に目配りがきき＝手を出せる人が減っていき、他方で日常生活で支えを必要とする人が、増えていることです。</p> <p>私の住んでいる上田中新開町自治会は、下関市の中心部にあります。近くに病院もあるし、イオンもあればサンキュードラッグもある。約800所帯1300人ほどの大きな町内です。その実態の一端を以下に示します。</p> <p>住んでいる人の3割以上、400人を超える方が高齢者です。現役世代は職場が町内ではなく、日中は町内には居ません。しかもその時間が長くなり・休日も減っています。数十年前と比べて、現役世代が町内関わるのが難しくなっています。</p> <p>居住地の町内で生活の大部分をすごしているのは、高齢者・それも後期高齢者です。その多くが一人住まいか2人所帯で、多数が車をもっていない（かつては持っていたが今は無い）。</p> <p>どうしても必要ときだけ子どもに車を頼むが、日常の病院や買い物に行く時は、年金暮らしなのに、バス停まで坂がなくって済むタクシーに頼らざるをえない。バスの便の不便さをご存じでしょう。</p> <p>坂や石段の多い町内なので、家の近所は歩けても、町内の集会所にすら、歩いてこれない方が100人以上います。</p> <p>住人として生活している人の多数を占める町内の高齢者・病弱者で、歩いて病院や買い物に行ける人は多くはないのです。</p>	<p>都市計画の観点からも、少子高齢化・人口減少の進行は喫緊の課題であり、将来的に今の都市機能や地域コミュニティを維持していくためにも、地域ごとにコンパクトな土地利用を図ることで、一定の人口密度を確保し、持続可能な都市構造を形成する必要があると考えています。</p> <p>「無料・低額の生活支援バス」等については、福祉、まちづくり、交通等の課題に対するご意見として、参考にさせていただきます。</p>

番号	項目	意見の要旨	市の考え方や対応
		<p>すでに、ゴミステーションにゴミを出すことが困難な所帯があらわれています。昨年秋には、独居所帯で孤独死が発見されました。これだけ沢山の高齢者や病弱者がいるのに、民生委員は5人しかいない。その人たちに市役所から対象者の名簿や現状が連絡されず、自分で調べて名簿を作らなくてはならず、回りきれない中で起こった事態でした。</p> <p>市役所・地域包括支援センターや社会福祉事務所も予算と人員が減らされ、住民の実際に対応できない状態となっています。</p> <p>【見直しの視点】は、この現実が見えているのだろうか、と思います。町内の生活の厳しさを感じている住民から見ると、将来像の【ライフスタイルのイメージ】は高齢者のいない町ようです。</p> <p><歩いて便利に日常生活を送ることができる>現実にするため、日常生活が難しい高齢者が増えている町内を支援する、公共の窓口を増強し、人員を増員配置することを示してもらえませんか。</p> <p><拠点に集積する生活利便施設を利用することができる>には、居住地と拠点を結ぶ、「無料・低額の生活支援バス」のネットワークがあれば、と思います。</p>	
9	78	<p>その他施設整備 中心地区は空家、空地の発生が増大する地域であり、この対策を加味した表現を検討されたい。</p>	<p>中心地区の「②その他施策 土地利用・市街地整備（拠点形成）」において、国道9号以北の関門海峡を臨む斜面市街地の空き家除却や、商店街などの空き家・空きテナント等の活用について、記載しています。</p>
10	78	<p>道路 下関北九州道路の施工主体は下関市以外と考えられる。よって、市としてアクセス道路の整備や、道路交通体系の見直し等についても記載することを検討されたい。 また、老朽化の著しい彦島大橋の改良について彦島地区のいずれかに述べることを検討して欲しい。</p>	<p>中心地区の「②その他施策 都市施設整備（交通体系整備等）」において、「下関北九州道路の整備を見据え、接続道路などの整備のあり方の検討を推進します。」と記載しています。 また、彦島大橋に限らず道路や橋梁については、全体構想の「4-2都市施設整備の方針（1）交通体系整備の方針」において、「既存の道路や橋梁については、適切な点検・診断に基づき、優先順位を明確にした改修・補修を行い、構造の耐震化や擁壁の強化など災害に強い道路環境を推進します。」と記載しています。</p>
11	86	<p>観光ゾーン 巖流島は観光資源の保全のみならず、必要整備も考え表現すべきと考える。またアクセス手段等の充実を加えることを検討されたい。</p>	<p>都市計画マスタープランでは「観光地に相応しい魅力づくりを推進」として方向性を示しています。具体については、個別に計画を検討するものと考えており、他分野の個別の関連計画において、取り組むものと考えています。</p>
12	90	<p>都市拠点 駅周辺にはマンション建設の増が著しい。この状況を踏まえ、マンションの増加と土地利用や環境保全等の整合について何らかの表現が必要と考える。</p>	<p>新下関駅周辺は立地適正化計画において、都市機能誘導区域に設定しており、まちなか居住の誘導を図るべきものと考えています。また、駅前には商業地域となっており、高度利用を促進する上で都市施設、商業施設、住居の集積を行うことは、コンパクトなまちづくりにつながるものと考えています。</p>

番号	項目	意見の要旨	市の考え方や対応
13	94、102	都市施設 南海トラフ地震による津波防災（施設）についても、加筆することを検討されたい。	全体構想の「4-6都市防災の方針（1）基本方針」において、「下関市国土強靱化計画に基づき、大規模な自然災害の発生に備え、海岸や港湾などの公共施設の強靱化を図る」と記載しています。 地域別構想において記載しております「高潮対策の推進」とは、台風等による高潮の被害から背後地の家屋や事業者等を防護するために、堤防の高上げ等を実施しているものです。必要な堤防高の設定においては、高潮はもちろん、南海トラフ巨大地震や周防灘断層群地震が発生した場合における津波高の影響も考慮し設定しております。津波対策も含まれているため、「高潮対策等」に表現を変更します。
14	127	(3) 3) 1行目 修文要請 …連携などについて、「国・山口県の実施する事業の推進及び」国・山口県・周辺市町との…	「国・山口県・周辺市町との事業内容の調整や財政支援など」の「など」に含まれています。
15	90	5-2-4 レクリエーションゾーン 砂子多川ホテル公園は近隣の散歩コースとなっています。現在、一部通行できず周回できる様になれば最高です。道路側の道路の草が毎年大変で、年2回町内会や消防団で草をかっていますが、道路部をほそう（アスファルトかコンクリート）していただけるとたすかります。	砂子多川ほたる公園で、現在使用禁止になっている東屋につきましては、令和4年度中に修繕予定となっております。 道路部の舗装については現時点での計画はありませんが、適切な維持管理に努めます。
16	90	勝山地区には国宝の住吉神社や、田倉の御殿跡など観光地としてもすばらしいものがあります。観光についても記入していただきたいと思いました。	住吉神社や勝山御殿跡については、本市の重要な観光資源であることは認識しております。 国宝や国史跡として位置づけがあり、周辺をある程度整備がなされていることから、地域の活動を踏まえ、周辺を観光ゾーンとして位置づけることとします。 また、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）に勝山御殿跡を追記します。
17	90	①の主要施策の土地利用・市街地整備の項では、中間3項目に「観光ゾーン」をつけたしてはどうか。 勝山地区には国宝の住吉神社本殿、重文の拝殿があり、又、国指定史跡となった勝山御殿跡もあり、今後の整備も含めて主要施策にとり上げる必要がある。	住吉神社や勝山御殿跡については、本市の重要な観光資源であることは認識しております。 国宝や国史跡として位置づけがあり、周辺をある程度整備がなされていることから、地域の活動を踏まえ、周辺を観光ゾーンとして位置づけることとします。 また、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）に勝山御殿跡を追記します。
18	90	次に、都市施設整備の項では、道路の分野では、勝山地区は山陽本線で南北に2分されており、鉄道を越える道路は下関長門線1本である。菊川・内日地区と下関市内を結ぶ道路が一本だけでは、万一この道路が通行不能になったら山陽本線を越えることができなくなる。勝山地区内で鉄道を越え、2号線につながる道が必要である。	下関長門線の代替路の整備については、必要性のあり方も含めて研究してまいります。
19	90	環境保全・環境整備・景観形成の分野では、住吉神社や勝山地区公園の整備は早急をお願いしたい。	住吉神社周辺や勝山地区公園の整備については、現時点では具体的な計画はありませんが、適切な維持管理・充実に努めます。
20	90	観光・レクリエーション（レクリエーションゾーンを変更） 景観形成から拠点形成へ変更 ・国史跡勝山御殿跡を拠点とした幕末防衛施設を観光開発します。 幕末の勝山御殿の防衛にあたって、背後に要塞地勝山三山、前面に秋根上や勝谷の砲台を据えて要塞化された勝山全域を具現化するために、国史跡勝山御殿跡とともに整備し、住吉神社、中山神社、東行庵、功山寺、前田砲台跡を含めた幕末の歴史的遺産を巡る観光ルートとして観光開発を推進する。	勝山御殿跡については、本市の重要な観光資源であることは認識しております。 国史跡として位置づけがあり、周辺をある程度整備がなされていることから、地域の活動を踏まえ、周辺を観光ゾーンとして位置づけることとします。 また、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）に勝山御殿跡を追記します。

番号	項目	意見の要旨	市の考え方や対応
21	92	<p>・長府綾羅木線の未整備区間周辺の市街化調整区域を見直し、有効活用を図ります。</p> <p>現在の市街化調整区域では、高齢化、後継者不足により、農業維持が難しい。</p> <p>この地域は、北九州、山陽、山陰への交通の要衝地であり、地政的に見て、大型商業施設、流通センター施設などを導入した物流拠点として土地開発を推進するのがよい。</p> <p>また、この地域は、扇状地扇端の湧水帯であり、宅地や大規模農地には不向きである。このため、広大な駐車場を要する施設（コストコ、病院など）を誘致するとよい。</p>	<p>市街化調整区域においては、コンパクトなまちづくりの観点から、スプロール化につながる宅地開発を抑制し、市街化を促進するような都市施設の整備は行わず、また、農業振興地域の整備に関する法律により農業振興地域に指定されています。このため、人口減少のもと、市街化区域拡大については慎重な検討が必要となっております。</p> <p>従いまして、現時点において、当該地の市街化調整区域の見直しの予定はありませんが、道路整備の進捗にあわせて地域の方のご意見等踏まえて検討してまいります。</p> <p>今後とも関係する部局と協議調整しながら農地の保全や周辺環境に調和した景観の形成及び良好な住環境整備に努めてまいりたいと考えています。</p>
22	106	<p>吉見地区の都市計画について</p> <p>1、地区の構想</p> <p>(1) 吉見駅（JR）の駅裏開発計画を“まちづくり協議会”で計画しているもので、吉見地区を地域拠点に入れてほしい。</p> <p>(2) 駅裏開発については、基本道路計画として、国道191号線の防災道路として、駅裏に入れて、駅裏を区画整理事業を行いたい考えです。</p> <p>(3) 駅裏開発については、田園住宅と公共施設整備（公民館、吉見支所）の移設を考えています。そのとき、民間と共同開発を考えています。よろしく願致します。</p>	<p>この度設定した拠点は、既に多くの都市機能が集積して土地利用がなされているところに設定しております。</p> <p>将来、都市機能が集積するとともに人口の増加などに応じて、適時拠点設定の検討を行ってまいります。</p>
23	9、11	<p>9ページ 3-2 (1) ① 1) 項目4</p> <p>11ページ② 2) 項目1</p> <p>地域特性や利用者の需要に応じた交通体系の維持・確保に努めるとあるが、豊浦地区において、循環ルートに生活バスを採用することはあるのでしょうか？</p> <p>可能性があるなら、豊浦地区まちづくり協議会は協力します。</p>	<p>菊川・豊田・豊北地区で運行している市生活バスは、民間での路線バスの維持が困難な地域において、交通手段の確保を図る目的で限られた台数・便数で運行しております。</p> <p>豊浦地区につきましては、民間の路線バスが運行しており、令和2年8月に策定した「下関市地域公共交通再編実施計画」に基づき、令和3年4月から済生会豊浦病院や商業施設などへのアクセス向上を考え、路線の再編を行っております。</p> <p>今後とも、路線バスの運行が維持できますよう、ご利用、ご協力をお願いするとともに、ご要望、ご提案がありましたら担当課とご協議をお願いいたします。</p>
24	13	<p>(2) ① i) 項目1</p> <p>地域の実情を踏まえた污水处理施設の整備を推進するとあるが、豊洋台地区において、コミュニティプラントの合併浄化槽が老朽化しており、維持が難しい状況になってきています。黒井地区も含めて、現在、豊浦中部浄化センターで処理できない地区への新たな浄化センターの配置の検討もあるのでしょうか？</p>	<p>新たな浄化センター等の整備は計画しておりません。</p>
25	114	<p>豊浦町のくすの森は、現在は観光には適さない状況になっているが、メインの扱いになっている。この他にも観光地にできるところは、室津の鍍絵や遺跡などたくさんあるのに川棚温泉周辺のことしか見えていない。本当に地域のことを調べて作ったとは到底思えない。</p>	<p>川棚のクスノキの森につきましては、再生に向けた土壌環境の改善を実施しており、多くの来場者を受け入れられる状況ではありませんが、豊浦地区の重要な観光資源の1つとして認識しております。また、その他の観光資源につきましても、交流人口の拡大を目指し、周知のための広報に努めてまいります。</p> <p>また、豊浦地区におきましては、川棚温泉街及びその周辺を主とする地域に対して地域活性化の先駆けとなる施策を展開し、その成果を地域全体に波及させることで豊浦地区の活性化につなげることを目指しております。</p>

番号	項目	意見の要旨	市の考え方や対応
26	全般	交通に関して言えば、市内の同じような路線を重ねて走るバスがたくさんあるのに、周辺部の交通網はどんどんなくなっていく。棄民政策。	路線バスについては、利便性及び運行効率性の向上による持続的な公共交通の確保のため、令和2年8月に「下関市地域公共交通再編実施計画」を策定し、長距離路線を分割し重複路線を解消するなど、運行効率化を図るとともに、利用状況に応じた路線の見直し等を進めております。また、新下関地区や豊浦地区では、病院や商業施設などへのアクセス向上を考え、循環路線への再編も行ってまいります。今後も引き続き、民間バス事業者等と協議調整を図りながら、公共交通の維持・確保に努めてまいりたいと考えております。
27	90	勝山地区に関して、全体として、現状や課題の掘り下げが十分でなく、施策に反映されていないのではないかと思います。地域の意見をしっかりと聞いたプランであることを願います。 ①主要施策 都市拠点として東亜大学周辺の「立地を活かした土地利用」とは、今後どのような拠点形成を目指すのでしょうか。	東亜大学は、立地適正化計画において都市機能誘導区域の誘導施設として位置づけています。また、東亜大学周辺は年齢層が若い学生住民の居住が期待されていることから、それらのニーズに合わせた土地利用のあり方を目指すものと考えております。
28	90	レクリエーションゾーンとして、砂子多川だけでなくヘルシーランドを拠点とするエリアも考えられて良いのではないのでしょうか。付近に動物ふれあいランドがあり、また、体験交流農園の計画もあります。	ヘルシーランド下関について、地域部構想図に主な施設・資源として記載しております。当該施設は、温水プールという都市施設的な要素が強く、市街化調整区域に立地していることから、この度はレクリエーションゾーンとして位置づけておりません。今後、周辺において、自然的要素を有する施設の集積や周辺整備などの具体的な計画が示される際には、次回見直し時において、ゾーンの検討を行います。
29	90	下関インターチェンジ周辺は、勝山地区という位置付けは疑問ですが、新下関市場本体から卸団地を含めて産業・流通ゾーンでとらえて活性化につなげるべきではないでしょうか。	新下関卸団地や棕野の福山通運下関トラックターミナルなども含めて下関インターチェンジ周辺として表現しており、ご指摘の通り、ゾーン表現は分かれています。新下関市場も含めて産業・流通ゾーンとして活性化につなげていきたいと考えています。なお、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）において、新下関卸団地を主な施設・資源として追記します。
30	90	都市施設整備の道路について、国道2号の渋滞対策にも関連する県道下関長門線及び県道下関美祢線の朝夕の渋滞緩和対策として、グリーンロードの延長（員光―青山）又は県道下関長門線の拡幅（石原―井田口）を位置づけるべきではないでしょうか。防災上の観点から是非必要では。	グリーンロードの延長及び県道下関長門線の拡幅については、必要性のあり方も含めて研究してまいります。
31	90	公共交通として、新下関駅を中心としたバス路線の再編が行われていますが、幹線の維持はもちろん、地域住民の生活や観光面にも配慮した編成となるようバスの小型化やコミュニティバスの導入も含めて検討が進められて欲しい。	令和2年8月に策定した「下関市地域公共交通再編実施計画」では、路線バスなどにつきまして、利用実態に応じてバスの小型化や循環型の運行などによる利便性及び運行効率化を図ることを検討課題としております。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
32	92	②その他施策 土地利用にある、「安岡港長府線以北の農村集落」と「綾羅木川周辺の優良農地」に関する記載は、同じ地区のことが述べられていると思われるので、一体化した記述の方が解りやすいのではないのでしょうか。	農村集落の集落環境の保全と優良農地の保全は意味合いが異なるものと認識しており、また、他地域との文章表現の整合性を図るため、分けた記述としています。

番号	項目	意見の要旨	市の考え方又は対応
41	47	都市拠点の中に運動拠点が含まれているが、分けて掲載していないのはなぜか。	立地適正化計画の都市機能誘導区域の設定と整合性を図っております。なお、地域別構想において、運動拠点の表現は、全体構想と整合性を図れていない表現であったため、都市拠点（運動拠点）に表現を変更します。
42	52	15行目の新下関駅周辺～ この記述の中に歴史的遺産等（国宝である住吉神社や、国史跡に指定されている勝山御殿跡の事）により形成された都市景観の保全、にぎわい・回遊性のある基盤整備及び空間づくりにより、活性化を図ります。と記載して欲しい。	具体については、地域別構想に記載する内容であり、住吉神社周辺や勝山御殿跡周辺については、歴史的遺産を保全するとして記載しています。また、新下関駅周辺は立地適正化計画に基づき、交通利便性を活かして、流通・商業等の沿道サービス施設の誘導と都市機能の集積を図り、まちなか居住の誘導を図ります。市街地中心地域勝山地区 地域別構想の都市拠点の項目において、文言に「回遊性」を追記します。
43	58	3) 公共交通の方針 すでに高齢化が進んでおり人生100年を考えたときに、安心して免許返納ができるバス交通等の方針についても触れてほしい。 ※P59にある脱炭素化に向けたBRTやMaaS～とあるので、その文章の頭に超高齢者の免許返納の推進や脱炭素化に向けたBRTやMaaS～としてももらっても構わない。	高齢者の免許返納に関しては、山口県警察が高齢ドライバーの交通事故防止のための環境づくりに、事業者・関係団体とともに取り組まれております。 高齢ドライバーの交通事故防止対策は、今後の課題の一つと認識しておりますので、4-2都市施設整備の方針（1）交通体系整備の方針の「7）その他」の文章に「・超高齢社会において、高齢者の交通事故防止の観点から、免許返納につながる取り組みの推進に努めます。」を追記します。
44	66	2) 歴史と文化を活かした都市環境の保全・形成の中に、新下関地区にある国宝住吉神社や国史跡の勝山御殿跡が入っていない。是非新下関地区の明記をお願いしたい。	全体構想については、数多くある中の1つの例示として表現しております。個別については地域別構想に記載しております。
45	90	レクリエーションゾーン うるおいある水辺空間とどのようなものでしょうか。	海や川など自然と身近に触れ合うことで、心身のリフレッシュなどが期待できる空間と認識しております。
46	90	レクリエーションゾーン 勝山地区公園や秋根記念公園（かっぱまつり）がない理由は何か。	主として勝山地区の人が利用するレクリエーションの場として、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）に主な公園として記載しております。市街地中心地域全体で見つた場合、主として地域内外の人が利用するところをレクリエーションゾーンとして設定しております。
47	90	また、観光ゾーンが記載されていないが、下関の国宝である住吉神社や国史跡の勝山御殿跡について観光地として魅力づくりや保全に務めるべきと考えるがどうか。	住吉神社や勝山御殿跡については、本市の重要な観光資源であることは認識しております。 国宝や国史跡として位置づけがあり、周辺をある程度整備がなされていることから、地域の活動を踏まえ、周辺を観光ゾーンとして位置づけることとします。 また、地域別構想図（市街地中心地域 勝山地区）に勝山御殿跡を追記します。